

2009年度決算説明会資料



東洋紡
取締役社長
坂元龍三

決算のポイント

09実績

- 世界同時不況の落ち込みから、08上期の利益水準へ
 - 液晶・電子部品および自動車関連の数量回復
 - コストダウン 100億円
 - 環境、メディカル関連ほか安定成長。高機能製品拡大

(億円)

	08年度				09年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	971	1,054	890	758	728	821	774	865
営業利益	42	55	30	-15	-7	37	28	57

- 在庫圧縮133億円などにより、営業CF290億円を創出

10計画

- 増収増益。数量増・新製品投入とコストダウン徹底で、営業利益200億円

目次

I

2009年度決算概況

II

2010年度計画

III

中期経営計画

補足資料

I . 2009年度決算概況

(1) 決算概要

(億円)

	08年度	09年度			増 減		前回予想 (09/11)
		上期	下期		金額	%	
売上高	3,673	1,549	1,639	3,188	-485	-13.2%	3,250
うちスペシャルティ (構成比)	2,301 63%	997	1,108	2,105 66%	-196	-8.5%	-
営業利益 (営業利益率)	112 3.1%	30 1.9%	85 5.2%	115 3.6%	+2	2.1%	120 3.7%
経常利益	21	13	62	74	+54	261.4%	75
当期純利益	-125	-6	26	21	+146	-	25
減価償却費	212	101	103	204	-8	-3.7%	
設備投資	200	90	62	152	-49	-24.3%	
営業CF	-4	121	169	290	+294	-	

(2) 財務指標

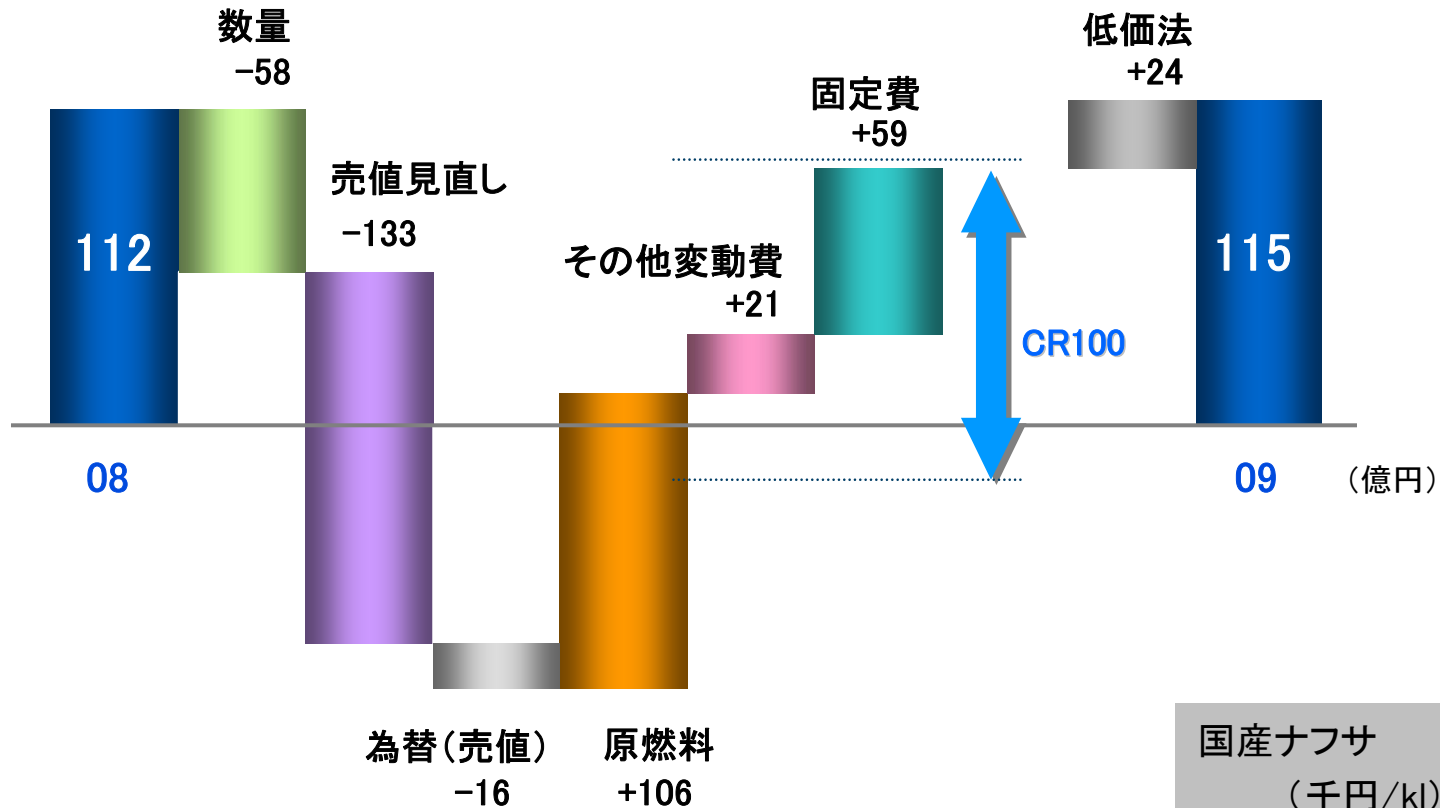
・在庫圧縮を進め、有利子負債減少

	(億円)			
	09/3末	10/3末	09/3末比増減	
総資産	4,438	4,384	-54	
うち棚卸資産	758	625	-133	
純資産	1,340	1,311	-29	* (実質)
自己資本	983	1,071	+88	1,225
(自己資本比率)	22.1%	24.4%		27.9%
少数株主持分	357	240	-117	
有利子負債	1,789	1,710	-79	1,776
D/E レシオ	1.82	1.60	-	1.45

* ハイブリッド証券(少数持分)の資本性を勘案

(3) 営業利益増減要因

【08年度→09年度】



	08	09
国産ナフサ (千円/kl)	59	41
円レート (¥/\$)	101	93

(4)コスト削減活動の進捗(CR100)

・コスト削減目標を前倒しで達成

【コスト削減額（08年度比）、発生ベース】

(億円)

	計画 (09/5)		実績	実施内容
	09	10	09	
変動費*	40	55	42	<ul style="list-style-type: none"> ・原料海外調達 ・調達コスト見直し(継続) ・原単位改善
固定費**	30	45	60	<ul style="list-style-type: none"> ・労務費削減 ・聖域なき経費節減 ・共通部門費圧縮
製造	22	30	35	
営業 スタッフ } }	8	15	25	
合 計	70	100	102	

* 市況要因による原燃料価格ダウンは含まず

** 減価償却費除く

(5) セグメント別

(億円)

	08年度		09年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
フィルム・機能樹脂	1,223	43	1,149	61	-74	+18
産業マテリアル	747	41	632	23	-115	-18
ライフサイエンス	331	30	324	40	-7	+10
スペシャルティ計	2,301	115	2,105	125	-196	+10
衣料繊維	1,117	14	884	4	-234	-10
その他	254	19	199	18	-55	-0
消去・全社	-	-35	-	-32	-	+3
合計	3,673	112	3,188	115	-485	+2

1) フィルム・機能樹脂

液晶・光学用フィルム、工業用接着剤「バイロン」は数量増加
包装用フィルムも堅調

	08年度	09年度			増減
		上期	下期	計	
売上高	1,223	553	597	1,149	-74
営業利益	43	12	49	61	+18
(営業利益率)	3.5%	2.2%	8.2%	5.3%	-
減価償却費	85	40	40	80	-4

(億円)

● 工業用フィルム

需要回復で出荷好調
太陽電池用バックシートフィルム上市

● 包装用フィルム

食品包装用は出荷堅調

● 機能樹脂

エンプラは自動車向け回復
バイオベース高融点PA事業化

2) 産業マテリアル

自動車関連は前半苦戦も、3Qより出荷回復
溶剤回収装置、機能フィルターなど堅調

	(億円)				
	08年度 計	09年度		計	増減
	上期	下期			
売上高	747	287	344	632	-115
営業利益	41	7	16	23	-18
(営業利益率)	5.6%	2.4%	4.8%	3.7%	-
減価償却費	40	20	21	41	+1

● エアバッグ用基布
／タイヤコード

後半より出荷好調続く

● 機能フィルター

自動車向け、事務機器向け堅調
溶剤回収装置などアジア拡販

● スーパー繊維「ダイニーマ」

安全手袋向けも需要回復
‘10/6より新設備稼働予定

3) ライフサイエンス

バイオ、医薬などメディカル分野は着実に拡大
 アクア膜は、中東に製造販売JV設立

(億円)

	08年度 計	09年度		計	増減
		上期	下期		
売上高	331	157	167	324	-7
営業利益	30	17	23	40	+10
(営業利益率)	9.0%	11.1%	13.7%	12.4%	-
減価償却費	35	16	17	33	-2

● **アクア膜**
 交換膜需要堅調
 大型案件受注見込み

● **医用膜**
 国内外で需要堅調

● **バイオ**
 血糖値測定用モニター酵素拡大
 簡易診断システム上市

4) 衣料繊維

これまでの構造改革効果で黒字確保

(億円)

	08年度	09年度			増減
	計	上期	下期	計	
売上高	1,117	459	425	884	-234
営業利益	14	2	2	4	-10
(営業利益率)	1.3%	0.4%	0.5%	0.5%	-
減価償却費	29	13	13	27	-2
使用総資本	921	-	-	831	-90
(営業利益ROA)	1.6%	-	-	0.5%	-

● 東洋紡STC (繊維)

スポーツ向け好調。トープ地苦戦
不採算事業圧縮

● アクリル繊維

原料高も構造改革効果で改善
内地、輸出共に出荷堅調

Ⅱ . 2010年度計画

(1) 業績予想

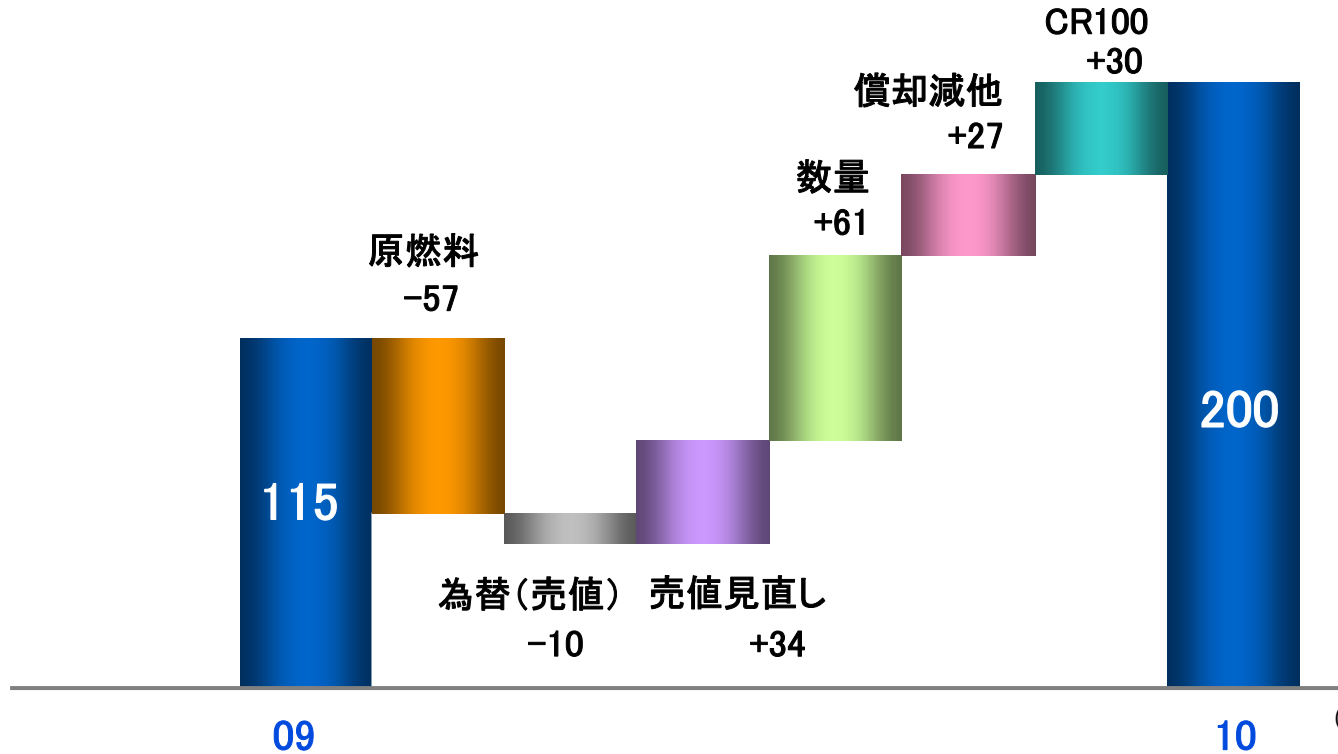
・数量増、新製品投入とコストダウン徹底で、営業利益200億円

(億円)

	09年度実績		10年度予想			増減
	下期		上期	下期		%
売上高	1,639	3,188	1,670	1,730	3,400	+6.7%
営業利益	85	115	90	110	200	+74.4%
(営業利益率)	5.2%	3.6%	5.4%	6.4%	5.9%	
経常利益	62	74	70	90	160	+115.0%
当期純利益	26	21	20	30	50	+138.8%
減価償却費	-	204	-	-	190	-
設備投資	-	152	-	-	165	-
為替レート(円/US\$)		93			90	
国産ナフサ価格(千円/KL)		41			50	

(2) 営業利益増減要因分析 (予想)

【09年度→10年度】



	09	10
国産ナフサ (千円/kl)	41	50
円レート (¥/\$)	93	90

(3) セグメント別内訳(予想)

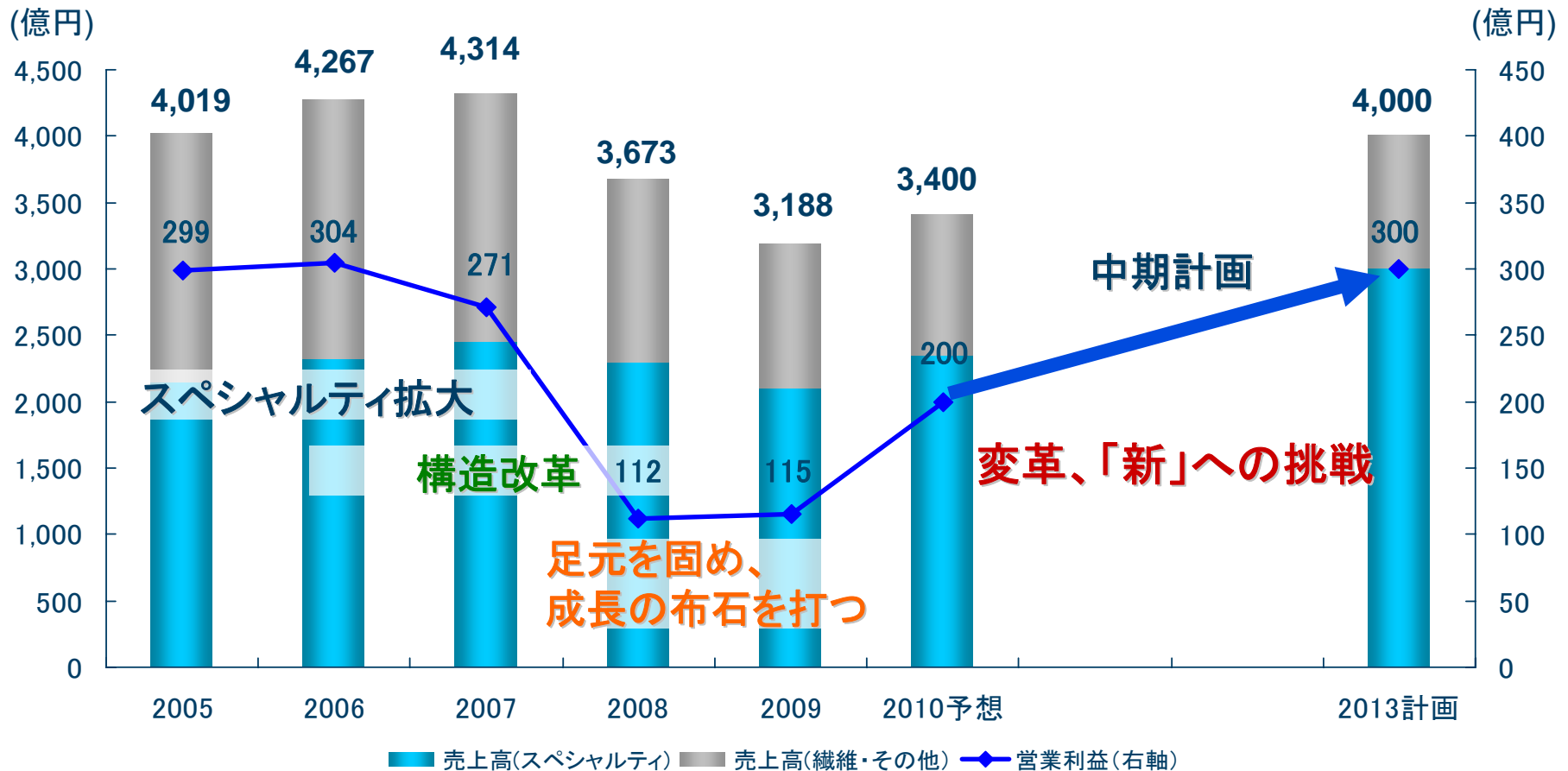
(億円)

	売上高				営業利益				(09下期)
	09年度	10年度予想		09年度	10年度予想				
		上期	下期		上期	下期			
フィルム・機能樹脂	1,149	630	640	1,270	61	55	55	110	49
産業マテリアル	632	350	370	720	23	20	25	45	16
ライフサイエンス	324	160	190	350	40	20	25	45	23
スペシャルティ計	2,105	1,140	1,200	2,340	125	95	105	200	88
衣料繊維	884	440	430	870	4	3	7	10	2
不動産・その他	199	90	100	190	18	7	13	20	11
消去・全社	-	-	-	-	-32	-15	-15	-30	-17
合計	3,188	1,670	1,730	3,400	115	90	110	200	85

Ⅲ. 中期計画

(1) 現状認識と中期構想

めざす姿：「環境、ライフサイエンス、高機能で、
新たな価値を提供するカテゴリートップ企業」



(2) 経営目標

	09年度	10年度 予想		(億円)
売上高	3,188	3,400		13年度 計画 4,000
うちスペシャルティ (構成比)	2,105 66%	2,340 69%	→ 8%/年成長	3,000 75%
営業利益 (率)	115 3.6%	200 5.9%		300 7.5%

・財務体質健全化： D/Eレシオ1.0を目指す

・設備投資 650 億円 (今後4年間、投融資含まず)

・研究開発費 400 億円 (今後4年間)

(3) 経営課題とアクション

- 課題**
- 1) 環境・ライフサイエンスの積極拡大
 - 2) 海外拡販 (スペシャルティ増分の1/3 は海外)
 - 3) 製品ポートフォリオ改革 (限界利益@ ↑)
- アクション**
- 1) 新製品投入 (例: 太陽電池バックシート用フィルムほか)
 - 2) 海外販売・供給体制の強化
 - 3) 生産プロセス革新 (増量、新製品、海外展開)
 - 4) 能力増強投資
- (共通) ・他社との事業連携 (脱自前)
・開発資源の再配置

(4) セグメント別目標と課題

(億円)

	10 売上高	13 売上高	10→13 増減分	課題
フィルム・機能樹脂	1,270	1,600	+330	・フィルム：新製品投入 ・機能樹脂：海外展開、新製品
産業マテリアル	720	850	+130	・AC：海外拡販 ・スーパー繊維：新增設稼働
ライフサイエンス	350	550	+200	・アクア膜：サウジJV、新製品 ・バイオ：新設備稼働 ・診断システム：新製品
スペシャルティ計	2,340	3,000	+660	年率 8%成長
繊維	870	820	- 50	資産効率重視 (ROA4%以上)
その他	190	180	-10	
合計	3,400	4,000	+600	

補足資料

補1)セグメント別四半期業績推移




(億円)

	08				09			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
フィルム・機能樹脂	346	351	302	224	270	282	307	289
	24	24	12	-17	-5	17	25	24
産業マテリアル	201	215	191	140	127	160	157	187
	13	16	11	1	-3	10	3	13
ライフサイエンス	74	96	78	83	70	87	72	96
	5	14	4	7	6	12	9	14
スペシャルティ計	621	663	571	446	467	530	536	572
	43	54	27	-9	-2	38	37	51
衣料繊維	289	310	262	256	217	242	187	238
	5	5	7	-3	0	2	-5	7
その他*	61	81	56	56	44	49	51	56
	2	6	5	5	2	6	4	7
消去・全社	-	-	-	-	-	-	-	-
	-8	-10	-8	-9	-7	-8	-8	-9
合計	971	1,054	890	758	728	821	774	865
	42	55	30	-15	-7	37	28	57

* 不動産セグメント含む

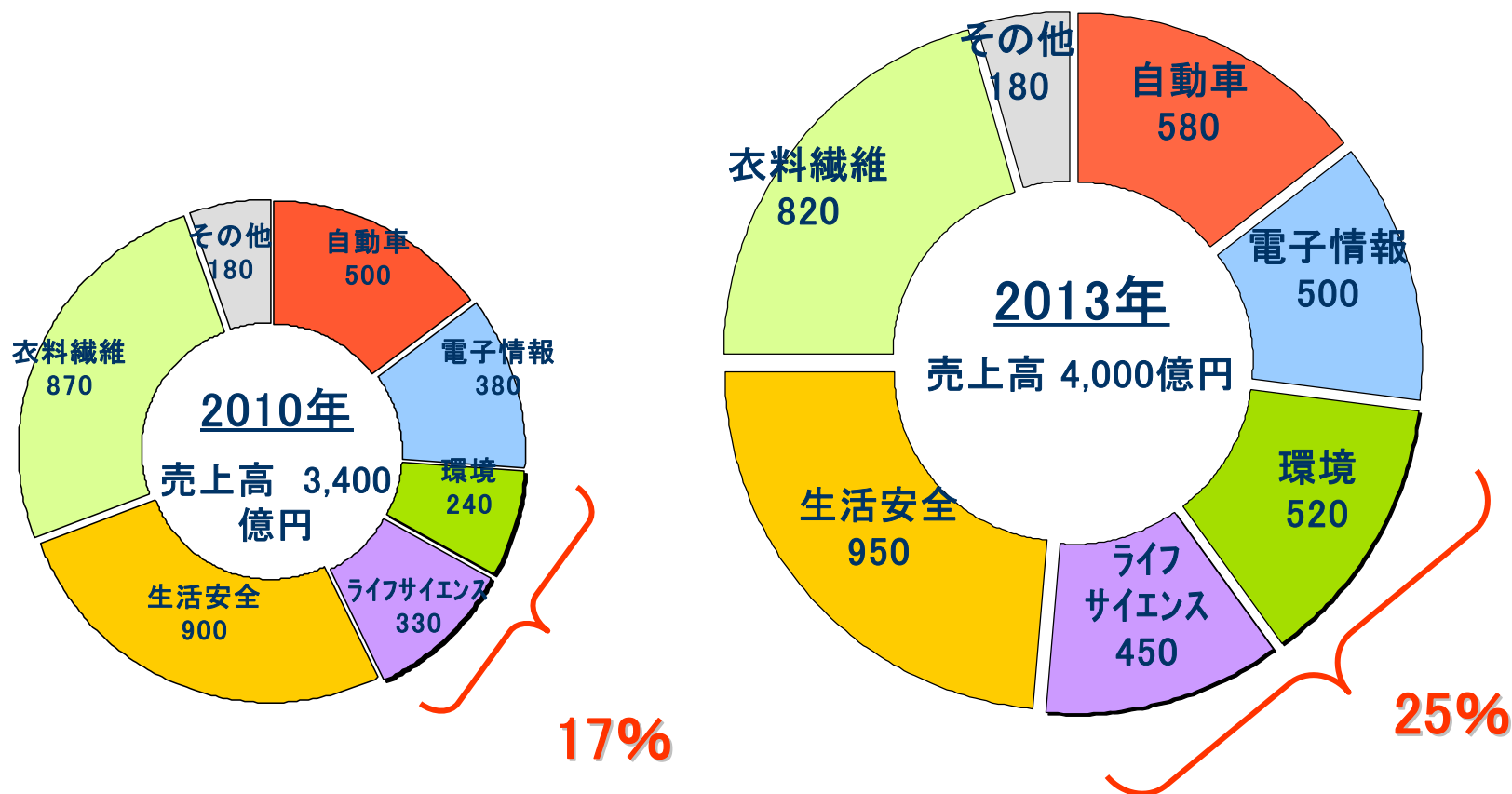
上段:売上高
下段:営業利益

補2) 成長期待市場

市場セグメント	自動車	電子・情報表示	環境	ライフサイエンス	生活安全
フィルム・機能樹脂		液晶・光学用フィルム	太陽電池用PETフィルム		包装用フィルム
産業マテリアル	A/B用基布	次世代電子材料 機能樹脂	燃料電池膜 PET新触媒		
ライフサイエンス	機能フィルター	高融点ポリアミド樹脂	溶剤回収装置 機能フィルター	医用膜	「ダイニーマ®」 「ブレスエアー®」
			水処理膜	診断システム	
				診断薬用酵素 医薬製造受託 医薬中間体	化粧品原料

補3) 展開する市場ポートフォリオ

「環境、ライフサイエンス、高機能で、
新たな価値を提供するカテゴリトップ企業」



補4) 訴訟関連

<概要>

- ① 2003年6月、ザイロン繊維使用の防弾ベスト事故(米国ペンシルバニア)(貫通事故は1件のみ)
- ② 事故被害者、同種ベスト購入者等が、防弾ベストメーカー、当社に損害賠償請求を提起
- ③ 防弾ベストメーカーの元取締役が米国不正請求禁止法に基づく訴訟を提起、
米国政府(司法省)がこの訴訟に原告として参加
- ④ 事故を起こしたメーカー以外の防弾ベストに関しても、米国政府(司法省)が訴訟を提起
- ⑤ 購入者からの集団訴訟は 原告団との和解成立(和解金等(約44億円)05上特損処理)
事故被害者からの訴訟(PL関連訴訟)も、和解により解決
ドイツ州政府からの訴訟は、一審で管轄不存在が認められ、控訴審で和解により解決
- ⑥ セカンドチャンス社との訴訟は、09年11月より法廷審理が開始

<訴訟状況>

(10.5.10現在)

	クラスアクション	PL関連	政府関係		防弾ベストメーカー			政府関係
			アーカンソー州	米国司法省	セカンドチャンス	ポイントブランク	ファーストチョイス	
原告	購入者	警官	アーカンソー州	米国司法省	セカンドチャンス	ポイントブランク	ファーストチョイス	ドイツ州政府
状況	和解成立 (05年10月)	和解成立 (06~07年)	訴状受取後 動きなし	証拠開示 手続	法廷審理	訴状受領	訴状受領	和解成立 (09年2月)
件数	10件	4件	1件	2件	1件	1件	1件	1件

本資料取扱い上のご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡績株式会社